



川崎大師ロータリークラブ 週報

例会日：毎週水曜日 PM12:30～
 例会場：大本山川崎大師平間寺信徒会館
 事務局：〒210-0812 神奈川県川崎市川崎区東門前1-15-10 カーサ石井1F
 Tel.044-277-7569 Fax.044-288-8550
 URL <http://www.kawasakidaishi-rc.com/> E-mail:daisi-rc@eagle.ocn.ne.jp

会長 細谷 重徳
 副会長 伊藤 善通
 幹事 横山 俊夫
 SAA 山村 友弘
 岩井 茂次

第1795回（本年度 第23回）例会 平成21年12月16日 一晴一

- 司会 岩井 茂次 SAA
- 点鐘 細谷 重徳会長
- 斉唱 手に手つないで

卓話者ご紹介 細谷 重徳会長
 のざき きいこ様（声優）

来訪ロータリアンのご紹介 水口 衛会員
 川崎RC 市川 洋治様
 川崎RC 小口 和久様

会長報告 細谷 重徳会長
 ・国際ロータリー2590地区ガバナー野坂定様より委嘱状が届いております。
 鈴木幹久会員に2010年～2011年度地区職業奉仕委員会委員長。大藪善一会員にロータリー平和フェロー委員会委員長です。

幹事報告 山村 友弘幹事
 ・例会予定と事務局のお休みのご案内
 来週は家族会です。
 12/30, 1/6は定款細則に基づく休会です。
 1/13（水）12時受付12時半から日航ホテルにて新春4クラブ合同例会。
 事務局12/28（月）～1/4（月）までお休みです。
 急ぎのご用の方は幹事の携帯までご連絡をお願いします。
 ・1月の例会日と内容（メールBOX）
 1/20, 1/27—通常例会
 1/17 地区ローターアクト年次大会
 ・今回より本年度通算例会数をのせてありますのでご確認ください。
 ・2011年度から2012年度ロータリー財団国際親善奨学生募集の案内がきいています。お近くに候補の方がおられましたらぜひ応募を出して下さい。
 ・川崎市市民子ども局より
 アメリカンフットボール日本社会人選手権ジャパンXボールのチケットが10枚届いております。12/21（月）19時キックオフ（東京ドーム）（事務局）
 ・川崎多摩RC 1/21（木）落語家 桂米太郎さんをお招きして卓話があります。申込の案内が来ておりますので回覧します。

- ・1/20 お大師様 護摩祈禱
- ・1/4 献血活動 出欠の確認
- ・2/3 節分のため例会場変更 サンピアン（労働会館）出欠確認
- ・他クラブ例会変更案内
- ・1/1より2/3までの期間はお大師様駐車場の利用をお控え下さい。 祈禱殿（東門前）は駐車できます。

出席報告 小林 勇次出席委員長

	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
1795回	74	66	43	23	62.15%
1793回	74	66	47	19	71.21%
前々回の修正	メークアップ 5名	修正出席率	78.78%		

メークアップ：
 島岡会員、鈴木（幹）会員、林会員、竹中会員、神田会員

スマイルレポート（ニコニコボックス）
 伊藤 善通副会長

島岡 榮基会員
 本年最後の定例会場です。お大師様一年間お世話になりました。

松井 昭三会員
 澤口会員、何時も窓口、ご苦労様です。今年は年忘れ家族会が最後です。皆さん宜しく。

宮山 光男会員
 本年も残り少なくなってまいりました。来週の移動例会楽しみにしております。

細谷 重徳会長
 家族会が近づき今年も残り少なくなりました。健康にはご注意され、良い年末を迎えましょう。

山村 友弘会員
 野崎様本日の卓話宜しくお願ひ致します。来週は一年の締めくくりの家族会です。皆で楽しみましょう！

本日のニコニコのテーマ

のぎき様、本日の卓話宜しくお願い致します。

増田 昌美会員、渡辺 富士夫会員、小林 勇次会員、
長島 亨会員、澤口 みよ子会員、横山 俊夫会員、
岩井 茂次会員、弦巻 敏夫会員、石渡 勝朗会員、
炭谷 博功会員、大藪 善一会員、後迫 太会員、
眞鍋 勝宏会員、数見 勝彦会員、石川 庸会員、
仲川 文則会員、伊藤 善通会員、中山 周二会員、
鈴木 幹久会員、神田 正彦会員、牛山 裕子会員、
長倉 連治会員、三浦 政寿会員、中村 眞治会員、
寺尾 巖会員 合計70,000円

委員会報告

親睦活動委員会

神田 正彦委員長

12/22 (火) 家族会です。 会場案内図 (メールBOX)

浜松町駅 南口 東京ガス本社方面 5~6分

点鐘 18時より

ニコニコ 一律1人1000円ご協力お願いします。

例会終了後、理事、親睦委員、新人の方打ち合わせをしたいと思います。

卓話者のご紹介

長倉 連治委員長

のぎき きいこ様

全日空のグランドホステス時代に接客サービスを学ぶ、その後ナレーターと声優の方に転身されました。150社以上の有名企業のCM・番組のナレーション、アニメ、洋画の吹き替えの仕事のプロとしてご活躍です。皆様になじみが深いものはパナソニックのカーナビゲーションの声を担当されています。現在はプロデューサー・ディレクター・講師としてご活躍なさっております。キャッチフレーズとして「笑顔と元気は年中無休です」というお言葉を頂いております。きっと楽しいお話をお聞き出来ると思います。よろしく申し上げます。

卓話

のぎき きいこ様

母から学んだ 「自立創造的人生のすすめ」

はじめまして。のぎききいこ と申します。

さて本日は「自立創造的人生のすすめ」ということでお話をさせていただきます。「自立創造的人生」とはどのようなことかと申しますと、

自分らしく自由に生きるためには、既成のライフパターンに自分を当てはめ、与えられた役割を「らしく」演じるのではなく、自分の人生は、自分で志を立て、自分でデザインし、自分で創るということ。

そのために不可欠なのが「自立(自律)」であるという考え方です。

自立は、建物でいえば土台。インフラ部分です。

一本の木にたとえれば、根っ子の部分です。この根っ子がしっかりとおりませんと、強風や、日照りにあうとすぐ萎えてしまい、木は大きく育たないのですね。

自立には経済的・物理的な意味での「自立」と、精神

的意味での「自律」がありますが、いずれも自立(自律)ができておりませんと、常に誰かに頼らねば、一人では生きていけなくなります。

でも長い人生、常に自分を守ってくれる誰かがいるとは限りません。ひとりで戦わなくてはいけない時もあります。人生順調な時は良くても、不運に見舞われる時もあります。そのような時に、自立できている人とできていない人とは、人生内容の差が実に大きいのです。わたくしはこの「自立(自律)」を母から学びました。

私の母は、私が幼少時、父の事業失敗による破産と同時に離婚しました。舅、姑に仕え、父の事業をサポートし、PTA活動にも精を出す。いわゆる良妻賢母。母は、私の誇りでした。しかし離婚後の母は、十分な能力を持ち合わせながらも自立できなかったために、経済的基盤をもてず、自分自身で人生の目標を見出すこともできませんでした。当時はまだ家父長制度のなごりもありましたので、母は唯一母方の継承者である幼い弟に老後を託し、自分の人生を弟に押し付けたのです。女の子である私は完全に二番手にまわされ、それは徹底しておりました。

父の事業の失敗で破産した我が家は一夜にして超貧乏になりましたが、私は貧乏生活の苦しさよりも、母と弟とわたしの3人暮らしのなかでの疎外感が辛く、一日に何度となく近くの土手に泣きに行っておりました。狭い家の中では泣き場所がなかったのです。

母は精神的な拠り所がほしかったのだと思います。宗教に助けを求めた母が、弟と私を連れて教会本部に行ったときのことで。不気味な様相をした大人たちが、泣いたり、念仏を唱えながら踊ったり、畳に頭を擦り付け、何度も何度もお辞儀をしながらぶつぶつ独り言を言ったりなど。その異様な行景が恐ろしく、私は思わず母にすがり付いたのですが、そのときの母の顔は、般若のように恐い顔でした。私の誇りであった自慢の母が壊れてしまったという感じでした。

今ふり返ると母の気持ちもよく分かるのですが、まだ子どもだった私には、母の気持ちを思いやる余裕がありませんでした。

母は毎日朝から晩まで、愚痴をこぼしながら泣き暮らしておりました。自分を裏切った夫(つまりは私たちの父)への恨み言を、繰り返し繰り返し子どもに言い聞かせる母を見ていると、親子3人これからどうなってしまうのだろうという不安が一杯でした。

あのころの生活は、もがけばもがくほど飲み込まれていってしまいそうな底なし沼であえいでいるような毎日でした。

「母のような生き方はしたくない。夫が駄目なら息子にと、母の人生はいつも誰かに頼り、何かにしがみつこうとする。そして相手が自分の方を向いてくれないと、ぶつぶつと不平不満を並べたてる。それでは相手にも失礼だ。相手任せではなく、私は私で生きていこう。ひとりでも生きていける強い人間になりたい。

人生どこでどうなるか分からない。そのためにも一生働き続けることができる職につき、経済力を身につけよう。とにかく愚痴の出ない人生のためにも後悔のない自分らしい人生を生きていこう」と。これが 私の最初の

人生哲学でした。

自分らしい生き方をするうえで、いかに「自立（自律）」が大切であるかを、日々に暮らしのなかで、悲しみと不安と戦いながら学習していったのです。それは痛みに耐えながら彫り続ける刺青のように、毎日毎日心に刻みつけ少しずつそして着実に体のなかに染み込んでいった教訓でした。お陰で私はその後の人生を実にたくましく生きております。母から学んだ自立をモットーに、意識的に自分の人生を創ってまいりました。

誠に僥越ですが、その一部をご紹介させていただきますと、私の最初の仕事は全日空のグランドホステスという職業でした。デスクワークが苦手。人間大好き私にとって、接客業のグランドホステスの仕事は大変気に入っておりました。先輩たちからも可愛がっていただき、お給料も満足でしたし、おまけに飛行機が¥0で乗れる！

これだけそろっていれば不満などおこるはずはない。フレッシュマン時代はそう固く信じていたのです。

ところがフレッシュマン時代を卒業するころでしょうか。心のズレから生じる温度差のような、なんとも言えない違和感が生じるようになりしました。

その違和感とは、一つに、男女差のある組織の縦割り構造のなかでの将来への不安でした。雇用均等法も成立していない当時、企業内の男女差は結構厳しいもので、いくら女性が頑張っても限界があったのです。

二つめに、組織の圧力と矛盾のなかで、生活の保障と引き換えに精神が萎えてしまう危機感でした。確かに生活は安定しているけれど、なにか大事なものを失っていないかしら？ 5年先、10年先の自分が見えない。

「違う・・・このままではいけない！」と、ナレータ・声優へと転職します。

こうしてナレータ、声優へと転職したことで、転職が天職となり、その後の人生を決めるチャンスになりました。一生ものの仕事をゲットしたのです。

とはいうものの、ナレータ、声優業が始めから順調だったわけではありません。養成所に通いながら、どさまわりもしましたし、生活のためにキャバレーで司会の仕事もいたしました。自分を売り込むための営業活動にも精を出しました。そうしてやがて少しずつラジオ、テレビの仕事も増えてきて、レギュラーも何本かかかえるようになり、ナレータ、声優業もすっかり身につけてきた頃、「違う・・・このままではいけない！このままナレータ、声優の人生だけで終わってしまうのでは人生あまりにも狭すぎる。小さすぎる。人生をもっといろいろの視点から試みたい！チャレンジしてみたい！まずはとにかく勉強がしたい！」と、予備校通いまでして大学受験へチャレンジします。

晴れておばさん大学生となり、勉強したいときに勉強時の匂とばかりに、乾いたスポンジが一気に水を吸い込む勢いで勉強を楽しみました。かけがえのない人生の充電期を得たのです。

そして人生の充電期を得た5年後。更に新しい「違う・・・このままではいけない！」のNGサインをキャッチしたのです。「このままではいけない、このままでは中途半端な仕事の域だ。ひとりの事業家として、社会に真正面から向かい合うためにも覚悟をもって望もう。もっとよ

り主体的に仕事と向かい合いたい！」と、更なるチェンジを求めて会社を設立します。

そこで私は自分がいかにリーダーとして経営者として未熟であることを嫌というほど思い知らされました。しかしそれは社会を知ること。自分を知ること。そして人生を知ることの勉強でした。貴重な財産を得たのです。

個人から会社のチェンジにより、女ざかりの全てを会社にささげた私は死ぬほど働かされ、悪戦苦闘の日々を通り過ぎ、やがて女ざかりもそ知らぬ顔で通り過ぎたころには、そこそこのキャリアと経済的自立を成し遂げておりました。この経済的自立のお陰で、悩んでおりました結婚生活から離婚もすることができました。

私は一時期、いわゆる駆け込み寺に逃げ込んでいた時がありましたが、そこで垣間見た現実に唖然としました。ほんとうに殺されてしまうのではないかしらと思うようなひどい暴力を受けながらも、経済的自立、精神的自立ができていないために別れることができない女性がまだまだいらっしゃるのですね。悲しいことでした。

私になんとか離婚ができたのも母の離婚後の人生をみて、母の生き方を反面教師にしてきたお陰です。

さて、皆様ご存知のように竹というのは、成長が早くまっすぐ伸びていきます。杉や檜は普通20年たっても10メートル前後しか成長しないのに比べて竹は1日で最高1メートルも成長することがあるそうです。

この驚くばかりの成長の秘密は、竹の節にあります。竹の節には成長点があり、節目ごとに成長し、竹の幹を強固にしているそうです。そして竹を強靱でしなやかなしているもうひとつの理由が、地下にしっかり根づいて、張り巡らされた地下茎です。

人間をこの竹にたとえますと、強靱でしなやかな竹になるための地下茎が人間の「自立（自律）」であり、竹の驚くべく成長の秘密の節にあたるのが、人生の節目です。たとえば進学・就職・転職・結婚など他、自らの人生を創っていくうえで、あえて自分で創る節目です。時にはそれが現状の問題解決のための改善であったり、あるいはリセットであったりします。この節目を私は「チェンジ」と言っております。

私もこの「チェンジ」を意識的に行うことで、成長させていただき、多くのチャンスをいただきました。

今の自分、今の行き方を変えることは、新しい自分、新しい生き方へ変わるチャンスです。そう、「チェンジ」は「チャンス」なんですね。

人生の諸先輩の方々に前にいたしまして大変おこがましいのですが、私が人生をチェンジするとき心がけてまいりましたことは、

●まずは 決断する勇気をもつことでした。

新しく改善するにおいて、時には今あるものを捨てる勇気が必要なことがあります。たとえば独立の際、肩書きを捨てて、ゼロから再スタートすることもあるでしょう。私の転職の場合もそうでした。今でこそ若者のなりたいた職業のひとつに上げられる声優ですが、当時は「西友（声優）ってどこの西友に勤めてるの？」程度で、航空会社のグランドホステスの方が分かりやすく、世間的には受けが良かった時代です。



そして不真面目社員といえども毎月振り込まれる定期収入。それら全てを捨てて、あえてプータロウに変身です。しかし、5年先10年先の自分の人生を創るためにも、「目のぬくぬくとしたこの生活に、このまいつまでもひたっているはいけない！」との思いでの決断でした。

●最終決断は自分です。

当時女性の退職は寿退社がほとんどでしたので、私の退社理由は、周囲になかなか理解されず、ほとんどの人々に反対されました。しかし、「自分の人生は自分で責任とるしかないのだから、後悔のないよう自分で決断しよう」が決めてでした。

●チャレンジ精神を忘れずに、とにかく行動に徹したことです。

始めの一歩を踏み出し行動することで、情報が入手でき、行動することで新しい出会いがあり、行動することで次のとるべき行動の内容が見えてきます。

●諦めないことです。

夢に向かってコツコツと努力し続けることでした。

この「チャレンジ精神」と「行動力」と「諦めない姿勢」があれば、竹のようにどんどん成長していきます。私もこの「チャレンジ精神」と「行動力」と「諦めない姿勢」で、たくさんの夢をカタチにしていきました。

これもひとえに、めぐり逢えた人々に助けられ生かさされ、そしてなによりも反面教師の母から学んだ「自立（自律）」のお陰です。ただひとつ残念なのは、今の私を母にみてもらえないことです。人の心というものは、時の流れとともに変わるものですね。その時は許せないと怒っていたことも、相手側の気持ちに立てたとき、ああ、そうだったのかと、自分のふところサイズが大きくなります。

二十代も後半になりますと、長い間反面教師としてしか見ることができなくなった母を、やがてひとりの女性として客観的に見ることができるようになり、けして幸せとは言い切れなかった母の人生をふり返り、娘として同姓として 精一杯やってあげたいという気持ちになっていきました。

母が年老いて入院したときのことで。ベッドでの用足しを嫌い、トイレに行く立ち上がった瞬間にふらついた母の体をとっさに支えたところ、そのあまりの軽さに驚きました。トドのように大きな体であった母が、長患いのためすっかり小さく細くなっていたのです。母はとても歩ける状態ではありませんでしたので、私は急いで携帯トイレを借りてきました。ベッドの横に置き、ベッドから母を支えながらお越し、携帯トイレの前に立たせましたところ、かわいそうに長い間我慢していたでしょう。間に合わなかったようです。母は粗相をしてみました。

そのとき 母は小さな声で「ごめんね」と、言ったのです。「なに言ってるの。小さいときお母さんにさんざんやってもらったのだから、今度は私がお母さんにお返しをする番でしょう」と、私も思わず言っていました。それは自然にふっと出た言葉でした。

なんの抵抗もなく、素直な気持ちで言えたのです。それが自分でもとても嬉しかった。「母が愛しくて愛しくて、とにかく母が喜ぶことをしてあげたい！」そんな気持ちで一杯でした。

その後、母は急に病状が悪化して、徐々に体が弱り、静かに亡くなりました。

亡くなる寸前 母の手を握り締めながら、なんとか奇跡が起きないものだろうか必死に祈り続けておりましたところ、そのことが母にも伝わり、すでに会話ができなくなっておりました母は、代りに私の手を握りかえてきたのです。

出てくる言葉は、ただただ「ありがとう」のひとことでした。親子のつながりというのは、言葉を遥かにこえたものですね。

最後に皆さんにもう一度、私からのメッセージを申し上げたいと思います。自分らしく生きるためには、自分の人生は自分で創るしかないのです。

なぜなら あなたの人生はあなたしか生きることができないのですから。

本日は「母から学んだ 自立創造的人生のすすめ」についてお話をさせていただきました。

最後までご清聴ありがとうございました。

卓話の御礼

細谷 重徳会長

チャレンジ精神本当に有難うございました。おいくつになるか分かりませんがいろんなことをされてきてよ、最後しんみりとした話でございました。

日時：平成22年1月13日(水)は移動例会です。

4クラブ合同例会

場所：日航ホテル



水口 衛／武者恵吾／増田昌美／岡 真治